



ななくに峠

〔教育目標〕 教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成

八王子市立七国中学校
令和7年12月25日
七国中だより12月号

2学期終業式講話より ～抜粋～ 校長 本田秀雄

おはようございます。本日で120日間という長かった2学期が終了します。生徒の皆さんにとって、この2学期はどのような学期だったでしょうか。

2学期の始業式で、「2学期は1年間の中で最も長い学期です。たくさんの行事が予定され、様々な体験を通して多くのことが学べる大切な機会です。そして、学年や学級、みなさん一人一人が大きく伸びるチャンスでもあります。」というお話をしました。この2学期を振り返ってみると、例年とは異なる教育活動の中にあっても、それぞれが自分の目標に向かって諦めずに努力してきたこと、取り組んできたことが様々な場面で見ることができました。校長としても大変うれしく思います。

合唱コンクールでは、例年よりも開催時期が2週間早まり、あわただしく、限られた時間を工夫しながら練習に励んでいました。当日は各学級とも取り組みの成果を十分に発揮して、素晴らしい歌声をホールに響かせることができました。3年生は翌週から始まる修学旅行の事前学習・準備と並行しながら自身の進路にしっかりと向き合っており頑張っていました。修学旅行ではタイトな行程の中、集合、出発の時間を1度も遅れることなく計画通りに実施することができていました。とても立派でした。2年生は中学校で初めてとなる宿泊行事の農村生活体験。民泊という慣れない環境の中で、誰ひとり怪我や体調不良者を出すことなく、3つの大きな目標に向かって取り組み、成し遂げることができた3日間でした。太陽学級は榮太樓総本舗とのコラボ企画で取り組んできたパッケージデザインの八王子キャンディーがとうとう販売までに至りました。七国地区みんなのコンサートでは即完売。これまでの努力が実を結んだ瞬間だったのではないのでしょうか。1年生は1月に実施される校外学習に向けての計画、事前学習、準備など、一生懸命に取り組んでいることと思います。2年生、3年生で実施する宿泊学習での集団生活や班別行動につながる重要な学習です。是非、「唯一無二」のスローガンを達成できるように頑張ってください。もちろん、これだけではなく七国中生の頑張りはあらゆる教育活動の場面で見ることができ、多くのことを学ぶことができた2学期だったと思います。

令和7年も間もなく終わります。令和8年に向けてみなさんはどのような目標を立てますか。みなさんがさらに大きく成長し、飛躍していくことを願っています。

最後になりますが、13日間という冬休みを過ごす上で大切にしてほしいことは、「冬休みのしおり」や「ほけんだより」に掲載されているので、確認をしておいてください。特に、自分の身体、自分の命を大切にしてください。休み中、感染症の予防などの健康管理はもちろんですが、交通事故などにも十分注意をして生活してください。～中略～ それでは、3学期の始業式にみなさんの明るく元気な顔が見られることを楽しみにしています。以上で2学期終業式の話とします。

終業式での代表生徒による「2学期を振り返って」〔敬称略〕

3年生代表 3年1組 堀内 大地

一年の中で最も長い2学期も今日で終わります。この節目を迎え、私がいつも心に留めている孔子の言葉を紹介します。

「学びて時に之を習う、亦た喜ばしからずや」これは「学んだことを繰り返し実践し、身につけることはなんと喜ばしいことだろうか」という意味です。2学期を振り返ると日々の授業や学校生活、行事などを通して、たくさんの学びや楽しい思い出を得ることができました。反面、悔しい思いや反省を感じたこともあったと思います。特に受験を控えたこの時期は、勉強に対して焦りや不安を感じることも少なくないでしょう。しかし、その一つ一つの経験も、さらなる学びへとつながり、私たちを成長させ、次へのステップとなると私は思います。そして、これから迎える3学期。孔子は「君子は和して同ぜず」とも言っています。これは「立派な人は周りとは協力しながらも、自分をしっかりとっている」という意味です。私たちは中学校生活最後の三カ月間を、仲間と支え合いながら、自分自身が決めた目標に向かって進んでいかなくてはなりません。受験は私たちにとって大きな壁ですが、共に励まし合い、共に努力することで必ず乗り越えられるはずです。残りわずかとなった七国中学校での生活も勉強も、全てが私たちを成長させる大切な瞬間です。悔いのないように一日一日を大切に過ごし、仲間とともに協力し、三年間の集大成となるよう精一杯頑張っていきましょう。

2年生薬物乱用防止教室

11月18日（火）6校時に体育館にて、「薬物乱用による体の影響について理解する」「薬物乱用のきっかけや、広まる原因について考える」「薬物を勧められても断る意志をもつ」を目的に、2年生を対象とした薬物乱用防止教室が行われました。講師として、南大沢警察署生活安全課少年係のスクールサポーターの方2名をお招きし、「薬物の危険性（依存症・耐性・健康被害）」「OD・大麻の現状と害」「誘われたときの断り方」「ネットが薬物を広める（DVD視聴）」の4つの内容について講義をいただきました。薬物を乱用することにより、体内のあらゆる臓器に悪影響を及ぼすことや凶悪事件や重大交通事故につながる可能性があること、知覚の変化、学習能力の低下、運動失調、判断障害などを引き起こしてしまうことなど、具体的な事例を挙げながらわかりやすく説明をしていただきました。また、SNSやインターネットを通じて、中学生や若い子でも簡単に手に入ってしまう薬物の危険性や事象についてDVDを視聴しながら学ぶことができました。



【薬物乱用防止教室生徒アンケートより】

1. 薬物乱用防止教室で学んだ事はどんなことがありますか。
 - ・覚せい剤や大麻のように明らかに薬物を摂取することではなく、風邪薬などの身近にある薬局で買える薬も決められた量をより多く摂取するとそれも「薬物の乱用」ということになることを知った。
 - ・OD（オーバードーズ）や大麻などの薬物を乱用している人が、自分と近い年齢が多いことに驚いた。一度使っただけでも乱用になり、自分の意志でやめられない（やめたくてもやめられない）ことが恐ろしかった。自分が乱用する側でなかったとしても密売には関わりたくないと思った。
2. 今日の授業を受けて、これからどのようなことに気をつけて生活しようと思いますか。
 - ・友達などから勧められてもあいまいな言葉を使わずに、きっぱり断るようにする。また、薬物が儲かるからと言って、売る側にもならないようにする。
 - ・どんな苦しい状況でも薬物にたよらずに騙されないようにする。誘われても断る理由を考えておいて、いつでも使えるようにしておきたい。

弁護士によるいじめ予防授業

11月26日（水）5校時、弁護士 今田 史明 様を講師としてお招きし、2年生を対象としたいじめ予防授業が体育館で実施されました。授業では、「安心、自信、自由」をキーワードに、事例を紹介していただきながら人権といじめについてわかりやすく説明していただきました。また、「どうすればいじめはなくなるだろう？」をテーマに、いじめの四層構造論（加害、被害、観衆、傍観）をアニメのキャラクターに例えてお話をいただき、それぞれの立場で「どうすればいじめは止められるだろう？」を考えました。50分間という短い時間でしたが、いじめ防止について深く考える貴重な時間となりました。



七国地区地域行事

【第2回地域清掃、緑化活動】

11月29日（土）午前9時から青少対主催による地域清掃活動が行われました。雲ひとつない空のもと、七国中学校の正門付近には朝早くから地域・保護者の方、生徒、児童を含め、多くのみなさんにお集まりいただきました。七国中学校を起点として清掃活動を開始。七国小学校でゴミを回収し、飲み物をもらって解散。七国地区の美化活動にご協力をいただきましてありがとうございました。また、緑化活動も同時並行で行われ、七国中学校内の花壇の整備、チューリップの球根植えにもご協力いただきました。清掃活動、緑化活動にご参加いただきました皆様、お疲れさまでした。



【七国地区みんなのコンサート】

同日の午後1時30分から、七国中学校体育館にて七国地区学園都市構想の連携行事『第1回七国地区みんなのコンサート』が開催されました。参加団体として、七国中学校（太陽学級）、七国小学校（合奏クラブ）、七国小学校（教職員）、みなみ野小中学校（林先生による合唱奏）、聖パウロ学園高等学校（ハンドベルクワイア）、東京ゆりかご幼稚園（踊り・「僕らの八王子」）、七国中学校（吹奏楽部）が出演し、歌あり、踊りあり、演奏ありと、大いに盛り上がった2時間でした。また、株式会社栄太樓総本舗と七国

中学校太陽学級のコラボレーションによる「八王子キャンディー」の紹介及び販売も行われました。コンサートの開催に伴いまして、協賛として株式会社栄太樓総本舗、株式会社ニッスイ東京イノベーションセンター、パルスシステム生活協同組合連合会の3企業にご協力をいただきました。昨年は、インフルエンザ感染拡大の影響により計画通りでの実施をすることができませんでしたが、今年は、予定通り実施することができました。当日は大変多くの地域の方のご来場があり、コンサートの鑑賞や八王子キャンディーの購入もいただきました。ご参加、ご来場、ご協力いただきました地域、団体、企業の皆様、ご協力ありがとうございました。



七国小・中交流活動

【ユニセフ募金活動】

12月1日（月）体育館にて、七国小学校と連携をしたユニセフ集会が行われました。この日は七国小学校の代表児童のみなさんが七国中学校を訪問して、スライドや劇を交えながらユニセフの活動や募金100円のできることなど、募金活動についてわかりやすい説明を行ってくれました。また、翌日の2日（火）には、七国中学校の生徒会本部の生徒が七国小学校の全校集会に参加して、ユニセフ募金のお知らせをしました。募金活動は12月3日（水）～12月5日（金）の3日間行われ、中学校では70,180円の心のこもったお金が集まりました。ご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。



【ふれあいタイム】

12月15日（月）5校時、七国小学校にて「小中ふれあいタイム」が行われました。「歳の離れた児童と接することで思いやりの心を育てる」「自分たちでレクの内容、時間配分を考えることで想像力、企画力を育てる」「七国小との連携を深める」を目的に、七国中生の1年生が七国小学校を訪れて、七国小の1年生から3年生の児童と一緒に各教室でレクを行う内容です。自己紹介の後、「なんでもバスケット」「ハンカチ落とし」「絵しりとり」「伝言ゲーム」などのレクを通して小中の児童、生徒がふれ合いながらコミュニケーションを図ることができた有意義な時間となりました。第2回目の「ふれあいタイム」は、2月9日（月）に実施する予定です。

農村生活体験 1,2年生 合同発表

12月12日（金）の4校時に、体育館にて農村生活体験の学年発表を行いました。2学年の各クラスの代表班が発表を行いました。2学年だけでなく、1学年も参加しました。発表では、写真やイラストを活用すること、声の強弱、抑揚を意識することなど、さすが各クラス代表と思わせるような発表でした。1学年の生徒もメモを取りながら真剣な表情で発表を聞いていました。違う学年の仲間から良い刺激をもらえる機会となりました。今後もこのような縦割りの活動を増やしていきたいと思います。



【1年生 農村生活体験学年発表会を聞いて】

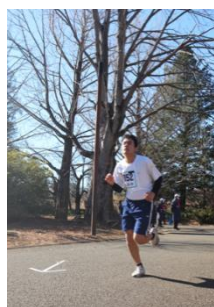
- ・農村生活体験は農業に関することがより学べるのはもちろん、班員との関わりや非日常な体験が楽しそうで、学びと思い出が多そうでした。
- ・農家さんたちは私たちのために、たくさんの苦勞の中で私たちの生活を支えてくれているということに気付きました。

- ・親しみやすい形でスライドを作っていて、見ていてわくわくしたし大切な内容も頭に良く入ってきました。校外学習の時のスライド作りに活かしていきたいです。

多摩特研 マラソン大会

12月18日（木）、太陽学級の生徒は国営昭和記念公園で多摩特研マラソン大会に出場しました。今年で53回目の開催となり、参加校が多摩地域54校、参加生徒数約1300人を超える大規模な大会です。

体育の時間や朝運動の時間にコツコツ走り持久力をつけてきました。1000人を超えるレースもあり、いつもと違う環境に緊張が隠せない生徒もいましたが、これまで頑張ってきた自分に自信をもち、出場生徒全員が完走することができました。1000m、2000m、3000m、3000mチャンピオンの4つのカテゴリーに分かれて出場しました。走る距離は計測タイムの結果とマラソンへの意気込み等を加味し決めました。規定タイムをクリアするとシード選手にもなれます。日々、目標をもって取り組み、本番を終えた皆さんの表情は達成感と充実感を感じられるものでした。そして、けが等で出場できなかった生徒も自分にできることを探し、授業の中から全力サポートをしてくれていました。大会当日も全員のゴールを見届け、声をかけるなどクラスの一体感も感じられました。レース結果は、自己ベストを更新した人、入賞をした人、様々でした。結果が全てではないですが、うれしい、悔しい、様々な気持ちが廻ったことと思います。全力で取り組んできたからこそ得られたものです。ぜひ、この経験を次の活動に活かしてください。



七国中生の頑張り

12月までに行われた大会等の結果です。[敬称略]

◆ 卓球部

【令和7年度 juic 杯】（11/23）

男子団体 第3位

【令和7年度 八王子市中学校新人卓球大会】（12/13）

＜男子団体＞ 七国A 優勝 七国D 第5位

＜女子団体＞ 七国A 準優勝 七国B 第5位



◆ 税についての作文

【令和7年度 八王子納税貯蓄組合連合会・八王子税務署「中学生の税の作文」】（11/25）

優秀賞 西園 桃花 原田 彩良 山田 瑚々海

◆ スピーチコンテスト

【令和7年度 第8回八王子市中学校英語スピーチコンテスト】

（11/15） 七国中代表 柳澤 諒（2位）、山岸 彩栄



◆ 科学コンクール

【令和7年度 第17回八王子市中学校科学コンクール】（12/6）

最優秀賞 中村 郁杜 審査員特別奨励賞教育長部門 長尾 錬 努力賞 東 樹那